



## 2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月10日  
東

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所  
 コード番号 2292 URL http://www.sfoods.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	260,937	3.9	7,257	△13.0	7,552	△13.6	4,140	△26.3
2019年2月期第3四半期	251,171	7.5	8,345	0.5	8,746	0.6	5,619	△4.1

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 2,125百万円(△31.0%) 2019年2月期第3四半期 3,082百万円(△81.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	130.74	—
2019年2月期第3四半期	177.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	177,200	86,260	45.2
2019年2月期	165,062	86,028	48.5

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 80,028百万円 2019年2月期 79,977百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2020年2月期	—	30.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	6.3	11,500	4.8	12,000	5.8	7,800	8.6	246.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	32,267,721株	2019年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	597,610株	2019年2月期	601,435株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	31,668,738株	2019年2月期3Q	31,665,866株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、米中の覇権争いによる不安定な国際経済情勢に加え、国内では消費増税による消費者マインドの冷え込みがあり、全体的には低調に推移しました。当食肉業界におきましては、低価格や人件費・物流費の増加などのため、厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、かねてから食肉の生産から小売・外食までの食肉事業の垂直統合を推進しておりますが、それら事業の内容を充実させ事業間の関係を緊密にすることにより、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、食肉の安定供給能力を確保するため、原料調達力の強化のための施策を着実に実行しました。現在、国内のみならず、米国、豪州、ニュージーランドで食肉事業を進めており、継続的・戦略的に事業拡大を図っております。食肉加工品においては、定番アイテム「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズに加え「レンジでひと皿」シリーズや「下ごしらえ」シリーズなどのラインアップで秋冬製品の販売強化に努めました。また、11月には千葉県船橋市に建設中であった新東京支店のうち、ミートセンター部分が完成し稼働を始めました。

食肉等の小売事業においては、新業態の店舗にも挑戦した他、継続的にイベント型の販売提案や、レイアウト再構築等の既存店活性化を実施し、また従業員の知識、技術向上による商品及び接客レベル改善を目指し、肉のマイスター制度をさらに浸透させてまいりました。

食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,609億3千7百万円（前年同四半期比3.9%増）、損益面につきましては、取扱量は伸ばしたものの海外事業を中心に粗利率が低迷したこと、物流費などの販売費及び一般管理費が上昇したこと等により営業利益72億5千7百万円（前年同四半期比13.0%減）、経常利益75億5千2百万円（前年同四半期比13.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益41億4千万円（前年同四半期比26.3%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### ①食肉等の製造・卸売事業

売上高は2,382億7千8百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は73億2百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

#### ②食肉等の小売事業

売上高は156億7千3百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益は6億2千8百万円（前年同四半期比23.0%減）となりました。

#### ③食肉等の外食事業

売上高は59億6千1百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は2億4千8百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

#### ④その他

売上高は10億2千4百万円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント利益は1億1千3百万円（前年同四半期比23.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて121億3千7百万円増加し、1,772億円となりました。これは主に、現金及び預金の減少、保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少の一方で、売上高増加に伴う売上債権、たな卸資産の増加、設備投資に伴う建物及び構築物の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて119億5百万円増加し、909億3千9百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の減少の一方で、売上高増加に伴う仕入債務の増加及び借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて2億3千2百万円増加し、862億6千万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少の一方で、利益剰余金の増加によるものであります。

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期通期の業績予想につきましては、2019年4月12日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,410	24,586
受取手形及び売掛金	33,157	40,767
商品及び製品	17,974	26,835
仕掛品	920	1,194
原材料及び貯蔵品	3,141	3,918
その他	2,985	4,295
貸倒引当金	△157	△133
流動資産合計	98,432	101,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,336	52,088
減価償却累計額	△22,889	△24,169
建物及び構築物（純額）	14,447	27,918
土地	17,069	17,285
その他	35,367	34,771
減価償却累計額	△20,987	△22,250
その他（純額）	14,379	12,520
減損損失累計額	△1,580	△1,893
有形固定資産合計	44,315	55,831
無形固定資産		
のれん	237	186
その他	463	540
無形固定資産合計	701	726
投資その他の資産		
投資有価証券	18,321	16,077
退職給付に係る資産	122	118
その他	3,473	3,261
貸倒引当金	△304	△279
投資その他の資産合計	21,612	19,178
固定資産合計	66,630	75,736
資産合計	165,062	177,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,760	34,850
短期借入金	8,290	8,670
未払法人税等	1,823	854
賞与引当金	974	1,547
その他	10,448	11,751
流動負債合計	49,298	57,674
固定負債		
社債	1,250	1,150
長期借入金	22,475	27,104
役員退職慰労引当金	208	202
退職給付に係る負債	1,952	1,924
その他	3,848	2,883
固定負債合計	29,735	33,265
負債合計	79,033	90,939
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,691	18,707
利益剰余金	50,126	52,430
自己株式	△421	△418
株主資本合計	72,695	75,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,921	4,761
繰延ヘッジ損益	△13	6
為替換算調整勘定	365	238
退職給付に係る調整累計額	8	3
その他の包括利益累計額合計	7,282	5,010
非支配株主持分	6,050	6,232
純資産合計	86,028	86,260
負債純資産合計	165,062	177,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	251,171	260,937
売上原価	215,445	225,283
売上総利益	35,726	35,653
販売費及び一般管理費	27,381	28,396
営業利益	8,345	7,257
営業外収益		
受取利息	42	36
受取家賃	112	110
受取配当金	310	326
その他	300	300
営業外収益合計	765	773
営業外費用		
支払利息	161	210
為替差損	92	160
賃貸原価	44	42
その他	66	63
営業外費用合計	364	477
経常利益	8,746	7,552
特別利益		
固定資産売却益	4	3
投資有価証券売却益	101	13
補助金収入	35	—
負ののれん発生益	—	30
受取保険金	25	88
受取補償金	—	34
その他	6	—
特別利益合計	174	169
特別損失		
固定資産処分損	47	199
減損損失	55	473
店舗閉鎖損失	9	4
災害による損失	35	33
その他	9	0
特別損失合計	157	711
税金等調整前四半期純利益	8,763	7,011
法人税等	2,880	2,615
四半期純利益	5,882	4,395
非支配株主に帰属する四半期純利益	263	255
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,619	4,140

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	5,882	4,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,879	△2,157
繰延ヘッジ損益	12	20
為替換算調整勘定	81	△116
退職給付に係る調整額	△11	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△10
その他の包括利益合計	△2,800	△2,269
四半期包括利益	3,082	2,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,801	1,868
非支配株主に係る四半期包括利益	280	257



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	228,066	16,255	5,826	250,149	1,022	251,171	—	251,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,079	29	294	6,403	148	6,551	△6,551	—
計	234,146	16,285	6,121	256,552	1,171	257,723	△6,551	251,171
セグメント利益	8,015	816	258	9,090	91	9,182	△837	8,345

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益の調整額△837百万円には、セグメント間取引消去△19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△818百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	238,278	15,673	5,961	259,913	1,024	260,937	—	260,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,925	43	285	6,253	143	6,397	△6,397	—
計	244,203	15,716	6,247	266,167	1,168	267,335	△6,397	260,937
セグメント利益	7,302	628	248	8,180	113	8,293	△1,036	7,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益の調整額△1,036百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,009百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計			
減損損失	461	8	3	473	—	—	473